

# 第103回コンピテントクルー参加者感想文

平成28年12月16日(金)～18日(日)、23日(金)～25日(日)

インストラクター：田中 利親

新田 浩さん 50代 女性 Competent Crew 修得

6日間ありがとうございました。ポートに乗り始めたのが4年前位なのですが、川をうろろして、海はちょっと行ったぐらいで、海から見た陸が好きで急に取りつかれたように乗るようになりました。

そんな時、横浜をうろろしていたら、あるヨットハーバーを見つけて、なんでこんなところにハーバーがあるのかって調べたら、社会人ヨットスクールというのがあって、「ヨットに乗れるんだ」って。申し込んで半年くらい毎月2回乗ってたんですけど、やっぱり古いスタイルのヨット教育システムなので、師弟関係みたいところで周りのクルーから盗めではないけれども、なんだかよく分からないまま、引けと言われたら引いているという感じがずっと続いていました。

そんな中でも1年もやっていれば、なんとなく段取りはこんな感じなのかなっていうのは分かるのですが、原理は全く分からないまま、本はこれを読んだらいいよって言ってくれはするんですけど、なかなか先に進まないの、そうこうしているうちに船のクルーが解散になってしまいました。

その後、たまたまベイサイドに船をお持ちの先輩がいて、その方に乗せてもらっているうちに、なんで一人でこんな簡単に船を出せているのかなと思ってどうしてこれを学んだんだろうって聞いたらこの教室のことで、紹介を受けて入ったというのが経緯です。

やっぱり先ほどから言っているように、なんとなく、そういうものだと覚えているような所はいっぱいあって、何が正解で何が間違っているのかも分からないって話と、実際最終的には帆の位置に正解はないって話がありましたけれども、その話がゴタゴタになっている感じのままずっと来ていたのが、一応、明らかに安全対策とかは正解があって、一方で最終的に船を走らせる方法には正解がないというバランスみたいなものは今回とてもよく分かったと思っています。中にはちょっとびっくりするぐらい、ショックなこともいっぱい含まれていましたので、とても勉強になりました。

ともかく、こんないっぱい暗記できるものかと思いつつ教科書を読み進んでましたが、多分もう一回、1から読み直したら、パッと頭に入ってくると思うので、これは復習せにゃいかんと思っています。

これからいずれは、一度はヨットを持ってみたいと思っていますが、絶対これが欲しいと思いつくまで待ってみようかなと思っています。先輩方に聞くと、「とりあえず持ってみたら色んなことが分かるよ」とも言われているので、どっちがいいんだろうと悩んでいるところです。お金がいっぱいあるわけではないので、限界はあると思うんですが、せめて10年間ぐらいは持ってみたいなと。あんまり後ろがないので、そろそろ頑張る時じゃないかなと思っています。あんまりこだわりがなく生きてきたような気がしますが、今回はちょっとこだわって、今後はいつかオーナーになりたいなと思っています。それまではいろんな方に乗せていただいて、いろんな流儀があるんだなというのを身に付けていいこうと思っています。ありがとうございました。



加賀谷 伸さん 50代 女性 Competent Crew 修得

みなさんどうもありがとうございました。

初日に来れなかったの、読めと言われたテキストを1か月前に送っていただいたんですけど、家に忘れてきてしまい、本当に勉強不足でした。

2008年の春までポートをやって出来たんですけども、最後の2、3年は仕事が忙しかったり、興味が薄れたりして、ハーバーに置きっぱなしになり、それで売っちゃったので縁がないかなと思っていました。

3年くらい前にクロアチアで1回クルーズする経験があって、仕事でもクルーズする仕事はあったんですけど、何か船持とうかなと思っていたら、モーターボートにも飽きちゃったので、ヨットもいいかなと思ってたら、結局ヨットもかなり操船技術がいるということが分かって、本を読んで昔乗ったことを思い出しながらやりました。

この間ヨットを廻航した時に、結局頭でわかっていても体がついてこないし、頭で考えたら体が勝手に動くかって言ったら、体は勝手なことやっちゃうし、だから頭と体が一緒に動くのは先のことが見えないと動けない。先のことは色んなシチュエーションがかぶっちゃうんですよ。例えば、ワンポンで上げたり下げたりするのと、メインを上げたり下げたりするのと、ハリヤードを上げたり下げたりするの、上げ下げはみんな共通なんですけど、スパッと出てこない、体が動かなくなってしまう。そういうジャッジをしているようだと、まだ海でゲストを乗せたり、自分で行ったりするのは厳しいかなということなので、もし少し上手い人や知り合いと乗っていかなくちゃなと思います。

あとヨットを買ってから色々気付いたんですけど、エンジントラブルだったり、マストが折れたりって聞いたんですけど、トラブルシューティングをかなり勉強していかないとちょっと厳しいなっていうところ。家族は乗らないと思うので、ぜひ一緒に乗っていただければと。よろしくお願いします。



浜田 哲弥さん 40代 男性 Competent Crew 修得

ありがとうございました。

僕の場合はきっかけとして、たまたま今年の10月ぐらいの「若大将カップに来てみたら」ということで、船舶免許も持ってないし、ヨットもほぼ乗ったことが無い状態でなんとなく楽しそうだから付いていったんですけども、クルーの数もそのとき少なくて、あれ引けこれしろっていうことを、何かしらずっとやっていて、ただそれが何のためにやっているのかが分からなくて、その後もう一試合出たんですけどその時も同じような状態で言葉もわからないし、何してるかも分からないし、もうちょっといろいろ知りたいなっていう話をしていたら、セールメーカーの戸叶さんやオーナーの方が、豪三さんの学校行ってみたらっておっしゃっていて、それがこのことだったんですけども、とにかく行って、少なくとも言葉とか原理とかを覚えられればなと思ったのがきっかけでした。

まずテキストを頂いて、とにかく1回全部読んでみようということで、読んでみたんですけど、やっぱり言葉の区別がつかなかったり、問われていることとか言われていることなど分からないことが非常にたくさんあって、やってみないと分からないかなって割り切りで来たんですけども、やってみて分かったこともあるし、新しく気になることもありました。ここで勉強して練習して分かったつもりになって、自信がない状態で船に乗ると、やっぱりその通りの結果しか出てこなくて、やっぱりこれを繰り返して自信が持てるようになりたいなと思っています。

たまたま今乗せてもらっている船が競技志向なので、そっち方向に行くのか、また色んな出会いもあったので、色んな方の船にも乗せていただいて、色んな楽しみ方も知りたいし、技術的にも細かいところを突き詰めていきたい気もしています。しばらくいろんな船に乗って、経験を積んで、自信が持てたら、買うかもしれないですし、今日コンピテントクルーを頂いて、やっぱりスキッパーにもなっていきたいし、コストルナビってところまでは最低でも行きたいなと思っているので、引き続き勉強していきたいと思っています。

よろしくお願いします。ありがとうございます。



# 第103回コンピテントクルー参加者感想文

平成28年12月16日(金)～18日(日)、23日(金)～25日(日)

インストラクター：田中 利親

## 卒業生②

お疲れ様でした。

私は第24回、2010年の9月の回に参加して、そこでコンピテントクルーをいただいてから、こういう場面に時々邪魔していますけど、6日間通して全部参加したというのは初めてです。大変良かったと思っています。その理由はいくつかありますけども、まず通してやったのでまた全部勉強しなおすことができたということ。2度と開かなかったテキストブックをまた見ると、わからなかったことは全部ここに書いてあるじゃん。書いてあるものを読むのとやることは全然違うので、見てこれをまたやんなくちゃいけないんだなっていうのを、みなさんがやっているのを見ながらつくづく思いました。

申し訳ありません。後半私が囁いたことが間違っていたりしてみなさんにご迷惑をかけたこと、ごめんなさい。

みなさんもまた是非こういうところに来てですね、思い切って囁いてみて間違えてもいいんじゃないかと思ったりしてます。もう一つ印象的だったのは、このISPAっていうシステムをどなたがどうやって開発したのか、またさらに進化しているんだと思いますけど、みなさんも気づいていたと思いますけど、田中さんは一度もこうやってやるんだよっていうのを、ドッキングをやらせてません、見せていません。どの船に乗ってもどの教室に行っても、必ずこうやってやるんだよと見せられちゃうんです。それで覚えた気になって、よしになるんですけど、この教室のシステムを見ていて、つくづく学ぶ方も大変だけれども、教えての方がすごく大変だと思うんですよ。フラストレーションが溜まりますよ。よく耐えられると思う。「こうやってやるんだよ！」とやりたいところで船が当たりそうになっているのに、口で「どうですか」なんてよくやれるな、もう当たるよなんて思って。

これは素晴らしいシステムで、どんどん教室の回数も増えていますので、とても喜ばしいことだと思います。

私も今ここで習ったワンラインドッキングをこうやってやるんですよということを、止めてあるパースで一生涯やるんですけど、決定的な差は指示を出さなくてもやってしまうところがあると思います。指示を出す人と指示を受ける人の呼吸はISPAならではのかなと思います。

## インストラクターより

6日間お疲れ様でした。

色んな天候があっすぎて勉強になったと思います。やるのがたくさんあって、それを一つずつ覚えていただいて、一つずつ忘れて行っの繰り返しです。なので、そのやるのが何の意味があるのかっていうことをしっかり理解すること。やる前にそれをイメージ出来るとより良くなります。自分でやったことをノートに常に書いて、その書いたことを繰り返し練習していくのが一番の近道だと思います。レベル的には高い位置まで来ていると思うので、あと一つ殻を破ればボンと上がっていくと思います。

ここがスタートです。ちょっと最後くじけちゃったかもしれないですけど、くじけても立ち上がればいいんです。やはり失敗を恐れてはいけませんので、たくさん失敗をしてなぜ失敗したのかをもう一回考えるそれがこのヨットの面白さです。永遠にゴールはありません。ISPAがヨットのすべてではありませんが、覚えておけばどの船に乗っても安全に乗ることができます。技術を身に着けたら自信をつけるために蓄積する事。カナダに行くコスタルコースもいいですし、クロアチアに行くコースもあります。お正月にタヒチに行くコースもありますし、J70のクラブもあります。学ぶべきところはたくさんあるので、そのチャンスに突っ込んでいただけたらなと思っています。